

第62回 中国地区

高等学校 演劇発表大会

目撃せよ! 燃やす青春を。 演劇に燃やす青春を。

島根県
島根県立松江南高校

「ヘルン先生」

島根県立横田高校

「サイワイはここにあり 青春編」

島根県立松江工業高校

「お手紙かみかみ」

鳥取県
鳥取県立米子東高校

「鳥取県と呼ばれる故郷があつて」

鳥取県立米子高校

「父と暮せば」

山口県
山口県立防府商工高校

山口県立宇部中央高校

「オニハット」

山口県立宇部中央高校

「そのフィルターは盛れない」

広島県
福山市立福山高校

「晴れの日 曇り通り雨」

尾道学園 尾道中学校・高等学校

「トロンブイユ」

岡山県
岡山県立岡山東商業高校

岡山県立鳴方高校

「君を推す!」

2024 12.21 SAT | 12.22 SUN

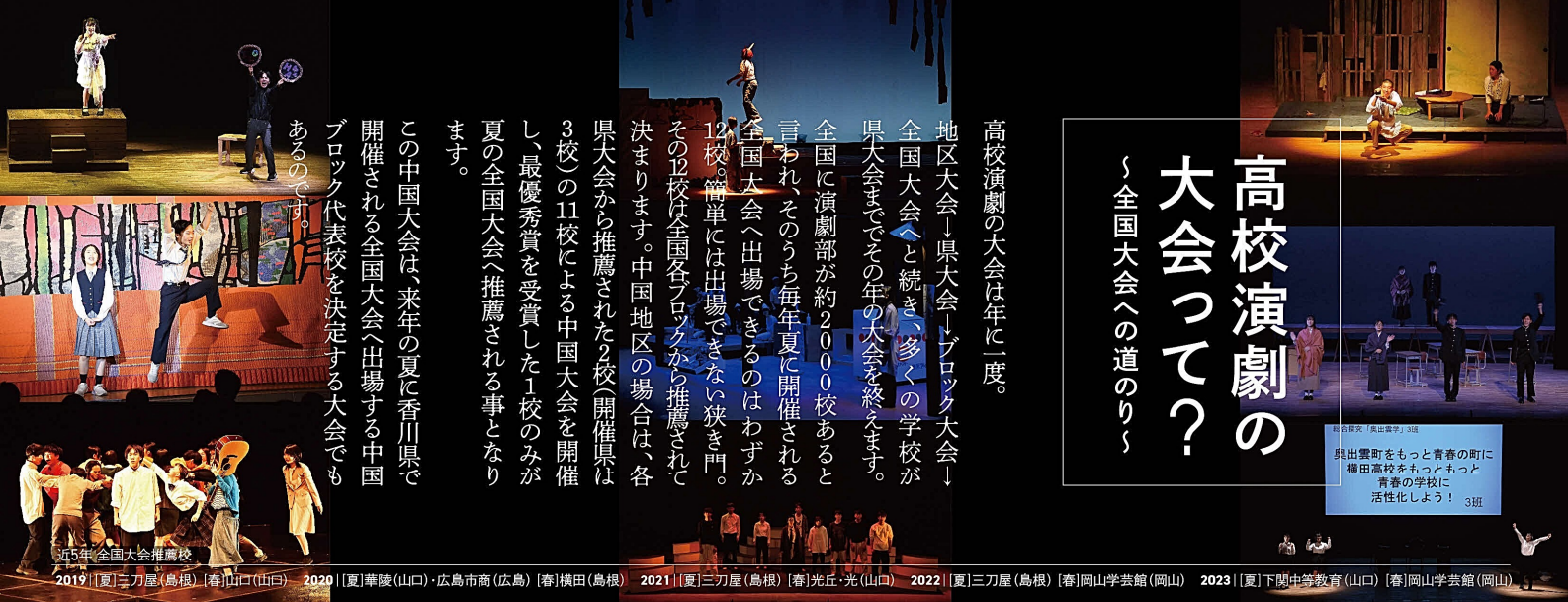
島根県民会館 大ホール 入場無料 提携駐車場3時間無料

マルシェもあるよ。

主催 / 中国地区高等学校文化連盟 全国高等学校演劇協議会 中国高等学校演劇協議会 島根県高等学校文化連盟 島根県高等学校演劇協議会
共催 / 島根県教育委員会
後援 / 松江市教育委員会 鳥取県教育委員会 山口県教育委員会 岡山県教育委員会 広島県教育委員会
助成 / 日本芸術文化振興会
特別協賛 / 東京工科大学日本工学院 協賛 / 桐朋学園芸術短期大学 多摩美術大学 四国学院大学



芸術文化振興基金



高校演劇の大会って？

～全国大会への道のり～

高校演劇の大会は年に一度。

地区大会→県大会→ブロック大会→全国大会へと続き、多くの学校が県大会までその年の大会を終えます。

全国に演劇部が約2000校あると言われ、そのうち毎年夏に開催される全国大会へ出場できるのはわずか12校。簡単には出場できない狭き門。

その12校は全国各ブロックから推薦されて決まります。中国地区の場合は、各県大会から推薦された2校(開催県は3校)の11校による中国大会を開催し、最優秀賞を受賞した1校のみが夏の全国大会へ推薦される事となります。

この中国大会は、来年の夏に香川県で開催される全国大会へ出場する中国ブロック代表校を決定する大会でもあるのです。

島田豊町をもっと青春の町に
横田高校をもっともっと
青春の学校に
活性化しよう！ 3班

近5年(全国大会推薦校)

2019 [夏]三刀屋(島根) [春]山口(山口) 2020 [夏]華陵(山口)・広島市商(広島) [春]横田(島根) 2021 [夏]三刀屋(島根) [春]光丘・光(山口) 2022 [夏]三刀屋(島根) [春]岡山学芸館(岡山) 2023 [夏]下関中等教育(山口) [春]岡山学芸館(岡山)

12.21 SAT 9:00 開場

- 9:20-9:40 開会式
- 9:50-10:50 島根県立松江南高校
「ヘルン先生」
作:松江南高校演劇部
- 11:10-12:10 岡山県立鴨方高校
「君を推す!」
作:鴨方高校演劇部
- 13:00-14:00 福山市立福山高校
「晴れの日、曇り通り雨」
作:古賀はなを
- 14:20-15:20 山口県立防府商工高校
「オニハソト」
作:防府商工高校演劇部
- 15:40-16:40 鳥取県立米子東高校
「地方と呼ばれる故郷があって」
作:小笠原雅史
- 17:00-18:00 島根県立横田高校
「サイワイはここにあり 青春編」
作:伊藤靖之

12.22 SUN 9:00 開場

- 9:30-10:30 鳥取県立米子高校
「父と暮せば」
作:井上ひさし
- 10:50-11:50 山口県立宇部中央高校
「そのフィルターは盛れない」
原案:三年梨月 作:宇部中央高校演劇部
- 12:40-13:40 尾道学園 尾道中学校・高等学校
「トロンブユ」
作:原田諭
- 14:00-15:00 岡山県立岡山東商業高校
「ラブ・ライフ」
作:新堀浩司
- 15:20-16:20 島根県立松江工業高校
「お手紙かみかみ」
作:亀尾佳宏
- 16:30-17:00 生徒講評委員会による発表
- 17:00-17:30 専門審査員による講評
- 17:30-18:00 閉会式

専門審査員

- 工藤千夏(くどうちなつ)
劇作家、演出家。うさぎ庵主宰。青年団所属。渡辺源四郎商店ドラマターグ。一般社団法人日本劇作家協会高校演劇委員会で震災高校演劇アーカイブを運営する他、高校演劇コンクールの審査・講評活動やWSを全国で展開。編著「コロナ禍三年 高校演劇」(論創社)を2023年8月上梓。
- 村端 賢志(むらのはしさとし)
徳島県立小松島高等学校放送・演劇部顧問。徳島市立高校で生徒と執筆した『どうしても縦の蝶々結び』が全国大会で創作脚本賞を受賞。疫禍下の全国大会では映画版「水深ゼロメートルから」を製作。現在はコンクールにとられない作劇を目指し、校内に小劇場を造る等、新たな部活動を模索中。

上演以外のお楽しみ

生徒講評委員会
@2Fロビー

各県から選出された生徒講評委員が、上演が終了後、舞台上でその内容を発表について話し合い、全ての上演終了後、舞台上でその内容を発表します。話し合いは2Fロビーで公開しておりますので、高校生のお芝居を高校生がどう受け止めたか、それをどのように共有しているかをぜひご覧ください。閉会式では優秀生徒講評委員を表彰し、全国大会へと推薦します。

マルシェ
@1Fロビー・南広場P

会場の屋内外に飲食店が出店します。パン、コーヒー、クレープ、ワッフル、カレー、ちゃんこ、ジビエ料理など、合間の時間は短いです。山陰のお店の味をお楽しみください。
※ホール内への持ち込みはできません。

演劇の扉

いつも不思議に思っていることがあります。みんな映画やドラマを観て笑ったり感動したりして「演じること」の面白さやすごさを知っているはずなのに、どうして「演劇」に興味をもってくれないのだろう、と。プロとアマは違う、それは確かにそうかもしれない。でも、ご存じですか?映画やテレビで素晴らしい演技をみせてくださる堺雅人さんだって黒木華さんだって水上恒司さんだって、かつては高校演劇の舞台に立っていたのですよ。

もう一つ不思議に思っていることがあります。みんな「コミュニケーション能力」とか「表現力」が大事な力だということを知っているはずなのに、どうして「演劇」に興味をもってくれないのだろう、と。人と関わりを持つのが苦手だった生徒が舞台上で堂々と演じるようになる姿はどこの演劇部でも当たり前のように目にする光景です。そもそも演劇をつくるということ自体が仲間同士密接に関わらないとできないことですので、自ずとコミュニケーションをとる機会は増えていくわけですね。

みなさんが素敵だと思ったり大事だと思ったりしていることの答えは意外と「演劇」にあるのかもしれない。ただ知らなかっただけで。ただつながってなかっただけで。

この文章を読んでいるあなたももし中学生だったら、高校に入学したときは演劇部のことをちょっと気にしてくれたらうれしい。

その学校に演劇部がなかったら、仲間を集めて文化祭で上演したり、物好きそうな先生に「演劇部じゃないけど演劇の大会に出場したい!」と掛け合ってみたりしてください。

高校演劇はいつでも門戸を開いています。もしあなたが中学時代も高校時代も通り過ぎていた人だったら、高校演劇をやることはできませんが、観に行くことはいつでもできます。高校演劇をやることはできませんが、演劇をやることはできます。演劇はいつでも門戸を開いています。いままでみなさんが、その扉に気づかなかっただけで。

もしかすると今この文章を読んでいることが、一つの扉なのかもしれません。扉の向こうに何かあるのかを、12月21日22日に島根県民会館でのぞいてみませんか。もしかするとそこに、未来の堺雅人さんや黒木華さんがいるかもしれない。いやいや、もしかしたら、あなたがそうなのかもしれないのです。

第62回中国地区演劇発表会事務局長
松江工業高等学校演劇部顧問 亀尾佳宏